

# 昭和47年度 和歌山県文化賞

まつ した ただし  
松 下 忠

住 所：和歌山県和歌山市

出 身 地：熊本県

生 年：明治41年

## ◎業績及び経歴

昭和13年東京文理科大学文学科卒業後、中学教官を経て昭和22年和歌山師範学校教授、続いて同24年和歌山大学学芸学部助教授、同33年教授となり、この間同大学附属図書館真砂町分館長、同大学附属小学校・同中学校長も歴任されたほか、教科用図書検定調査審議会調査員、和歌山大学評議員としても尽力されたが、現在も研究と後進の指導に献身されている。

和歌山師範学校着任以来、藩学の研究と同時に、「紀州藩の漢文学」を終生の研究テーマとしてすべてをこの膨大な研究に捧げてこられ、「紀州藩漢文学の全貌」「大明律研究における紀州藩と護園学派」「祇南海と李白」「菊池海荘の詩及び詩論」等36篇にも及ぶ貴重な論文を次々に発表され、昭和28年以来再々文部省科学研究費の交付を受けられているが、代表的労作「江戸時代の詩風詩論—明・清の詩論とその摂取—」により昭和37年文学博士の学位を受けられ、さらにまた昭和47年には学界最高の荣誉と権威のある日本学士院恩賜賞を受賞された。